

1. パブリックコメントの実施状況

- ① コメント実施期間 平成29年2月1日から2月25日
- ② コメントの状況 有効提出数：16通
提出方法：郵送：5通、FAX：5通、Eメール：6通、窓口持参：無し
コメント数：28種類/49件
- ③ コメントを元に修正した箇所 あり

2. パブリックコメントの内容

・第1章

No	金剛地区再生指針（素案）内の対象項目	コメントの概要	コメントに対する市の考え方
1	(1)背景と目的	金剛地区は、市全体の活性化のため重要な役割を担う拠点として、そのあり方を明確にする必要がある。	金剛地区は、人口や都市基盤が集積しており、市の西の玄関口として、重要な拠点であると考えています。 また、金剛地区は、計画的につくられたまちであり、顕在化した課題に計画的に対応していく必要があると考えています。 いただいたご意見を参考とさせていただき、「第一章(1)背景と目的」の本文に、その趣旨を踏まえた表現を追加させていただきます。
2	(3)計画期間	計画期間の「おおむね10年間」について、「（仮称）金剛地区まちづくり会議」の組織や活動等の醸成期間、及び行政として思い切った財政支出をし、自律更新・継続可能なまちづくりを進める基盤をつくる期間として、明確に位置づけるべきである。 素案からはそのような位置付けが見えてこない。	計画期間の「おおむね10年間」の位置付けについて、「指針に基づく取り組み等を着実に進め、将来像の実現を目指すとともに、2040年頃を見据えた取り組みや、自律更新・継続可能なまちづくりに向けた基盤づくりを進める期間」であるものと考えています。 いただいたご意見を参考とさせていただき、「第一章(3)計画期間」の本文に、その趣旨を踏まえた表現を追加させていただきます。
3	(4)富田林市の他の計画との関係	・「市総合ビジョンや市の他の計画等との整合」と述べ、「これらとの整合を図りながら進める」とどまった記述となっているが、もっと掘り下げて記述すべき。 ・本指針に掲げられた課題、また住民の意見が、いかに「市総合ビジョン・市総合基本計画」に反映されていくかを期待する。 ・本指針の取り組み過程で、市総合ビジョンの見直しを働きかける等、相互に整合を図る必要がある。	地区再生・活性化に向けた取り組みは、市の他の計画等と相互に整合を図りながら進めるものと考えています。 いただいたご意見を参考とさせていただき、「第一章(4)富田林市の他の計画との関係」の本文を、「市の他の計画等との相互の整合」を踏まえた表現に修正させていただきます。

・第3章

No	金剛地区再生指針（素案）内の対象項目	コメントの概要	コメントに対する市の考え方
4	(2)実現を目指す「まち」と「暮らし」の姿	若者、高齢者の視は多くあるが、身体障がい者（児）の視点が抜けているのでは。	本指針（素案）では、障がいをお持ちの人も含め、誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちを目指すこととしています。 いただいたご意見を参考とさせていただき、『第3章(2)実現を目指す「まち」と「暮らし」の姿の「地域力」で支え合うまち』、及び「第1章(1)背景と目的」の本文を、「障がい者等」を含めた表現に修正させていただきます。

・第4章

No	金剛地区再生指針（素案）内の対象項目	コメントの概要	コメントに対する市の考え方
5	1-1、1-2	・高齢者等の移動環境の改善は、喫緊の課題と考える。特に「配食や移動支援、日常生活の支援サービスの多様化」の取り組みは、リーディングプロジェクトとして、行政が先導役となり具体化すべきである。 ・大阪狭山市は、市内の隅々まで100円バスが運行している。 ・地区での生活（移動手段）として、公共バスの拡充は重要な課題であり、必要性を訴える声も多い。	本指針（素案）では、高齢者等の日常生活支援サービスや移動等の課題への対応を進めることとしています。 実現に向けては、住民・地域団体等との連携を図るとともに、ビジョンを共有することが重要であると考えています。
6	1-3、3-1、3-2	・空き家や団地の空き部屋を利用して、サークル活動等ができるスペースをつくってはどうか。 高齢者だけでなく、若い母親や子育てが一段落した母親も活躍できるとともに、だれもが興味を持てるような場とすることが理想であり、行政の支援も必要。 ・大阪狭山市の公民館には自由に使えるフリースペースがある。	本指針（素案）では、誰もが生きがい・やりがいを持てる活動や居場所づくりを推進することとしています。 また、そのための手法の一つとして、既存の文化・運動施設の使い方の見直しや、空き家や空きスペースを有効活用することとしています。 いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。

7	1-4	<p>地区周辺の歴史・文化等の魅力を体験できるツアー等を実施してはどうか。</p>	<p>本指針（素案）では周辺地区との交流や歴史文化に触れる活動に取り組み、地区に新たな魅力や文化を育てることとしています。</p> <p>いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。</p>
8	2-1	<p>・団地の再生について、駅近で家賃が安ければエレベーターが無くても若者が入居すると思われるため、駅前には、エレベーター無しのまま学生や一人暮らしを始める若者を対象とした改修をし、駅から離れたエリアでは、エレベーター設置等の改修をして、高齢者等呼び込んではどうか。</p> <p>また、一棟丸ごと学生寮にしてもニーズがあるのでは。</p>	<p>本指針（素案）では、賃貸住宅等について、改修等による魅力的な住宅の供給を推進することとしています。また、若者も含めた新たな居住者を呼び込むことも重要な視点であると考えています。</p> <p>いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。</p>
9	2-1	<p>・金剛地区の再生・活性化のためには、その中心部をなす、金剛団地（UR賃貸団地）の活性化が不可欠。住民レベルでの環境づくりや産官学の連携等、さまざまな角度からの活性化が地区全体の活性化につながる。</p> <p>・地区再生に際し、地区に占めるUR賃貸住宅の割合は大きく、その整備等の方向性が大きな影響を与える。</p> <p>そのため、UR都市機構がその方針を決定する前に、話し合いの場を持つ必要がある。UR賃貸住宅の住民以外の人の思いもUR都市機構に取り入れてもらう必要があり、そのような方針も検討してほしい。</p> <p>・UR賃貸住宅の現状（日常生活の中で起こっているさまざまな問題）にもっと関心をもってほしい。</p> <p>自然環境も良く、便利な金剛地区で、心地よく過ごしたいと思っているが、現状では、安全・安心、快適は程遠い。</p> <p>・UR都市機構との連携により、団地内の空きスペースを活用して、花いっぱい団地をつくってはどうか。</p>	<p>本指針（素案）では、地区内の住宅の半数以上を占めるUR賃貸住宅においては、長い期間をかけて形成された団地のコミュニティによる住み良さを継承、発展させるとともに、改修等により魅力的な住宅の供給を進めることとしています。</p> <p>また、地区の再生・活性化は、地区にかかわる全ての人等が連携し、さまざまな角度から進める必要があると考えています。</p> <p>いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。</p>
10	3-1	<p>・商業施設の早期更新を願う。ピュア金剛あとにスーパーやコンビニ等を誘致し、前の広場を整備（緑化・遊具等設置）することで、幼児や高齢者が集い交流が出来る場になると思う。</p> <p>・「ピュア金剛跡地」等の具体的な施設名の記載がないが、住民の要望が特に強い案件でもあり、本文に「ピュア金剛跡地の活用」について記載するとともに、行政としてもUR都市機構に対し積極的に働きかけていく責任がある。</p> <p>・ピュア金剛跡に「道の駅」を整備して、地元の農産物などを販売してはどうか。</p>	<p>本指針（素案）では、既存のさまざまな施設の更新等の機会をいかして、日常の買い物等だけでなく、さまざまな活動や交流の場等の機能を持つ、多機能が複合した生活サービス拠点づくりを目指すこととしています。</p> <p>実現に向けては、関係事業者等との連携・調整を図るとともに、ビジョンを共有することが重要であると考えています。</p> <p>いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。</p>
11	3-1	<p>・公共施設は、歴史的に作られてきた財産で、住民が暮らすための基盤的な施設である、安易な統廃合は、しないでほしい。</p> <p>・集会所、公園、青少年スポーツホール等についていつどのように改修していくのか、行政として財政的措置も含めて具体的に明示してほしい。</p> <p>これらの施設は、まちづくり活動を支える重要な場所となる。</p>	<p>本指針（素案）では、住民の多様な活動ニーズに対応するため、既存の文化・運動施設の再整備や使い方を検討することとしています。</p> <p>また、そのあり方等は、市の他の計画等と「相互に」整合を図りながら検討を進める必要があると考えています。</p> <p>いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。</p>
12	3-2	<p>小・中学校や幼稚園、保育所に関する記述がないことが気になる。特に小学校は、まちづくりの大きなウェイトを占める交流拠点であり、そういう視点を盛り込むべき。</p>	<p>本指針（素案）では、地域活動や生活サービス充実の場として学校施設についても活用を進めることとしています。</p> <p>いただいたご意見を参考とさせていただき、「第4章3-2②」について、「学校施設を地域活動の場として充実すること」を踏まえた表現に修正させていただきます。</p> <p>なお、幼稚園・保育所等のあり方等については、今後のまちづくりにおいて、関係機関等との連携・調整を進めてまいりたいと考えています。</p>
13	3-3	<p>寺池公園という財産をいかしきれていないと感じる。大阪狭山市の狭山池のように、明るく開放的な空間にすべきである。</p> <p>例えば、金剛駅からの誘導ルートや、周回ウォーキングコース、芝生のある空間を作ってはどうか。</p> <p>現状は、暗くあまり行きたくないと思わない。</p>	<p>本指針（素案）では、寺池公園の水辺と緑を楽しむ公園への再生を、住民の参加により進めることとしています。</p> <p>いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。</p>
14	3-3、3-1、3-2、4-1	<p>金剛中央公園を活用した交流拠点をつくることは重要である。</p> <p>交流拠点の整備は、プロジェクトを進める上での要になるため、早期に取り掛かるべきである。</p> <p>また、プールの再開は、子育て世代の移住を促進するためにも重要である。</p>	<p>本指針（素案）では、金剛中央公園を多世代が交流する拠点として育むこととしています。</p> <p>また、まちづくりの中心拠点等として、さまざまな活動を支えるための場所を確保することとしています。</p> <p>いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。</p>

15	3-3	街路樹を適正に維持管理し、住民の協力を得ながら、緑豊かなまちを守ってほしい。	本指針（素案）では、地区内の通りにおいて、快適性の向上や愛着の醸成、美化・緑化等に取り組むこととしています。 いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。
16	3-3	高齢者にやさしい道路づくりをしてほしい。	本指針（素案）では、地区内の通りにおいて、快適性の向上（ユニバーサルデザイン化を含む）や愛着の醸成、美化・緑化等に取り組むこととしています。 いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。
17	4-1	祭りやイベントを手掛かりとしてまちづくりを進めることが提案されているが、この方法では一人ひとりが煌くまちづくりはできないのでは。 祭りは、地域での日々のさまざまな活動のまとめとして行われるもので、日々の活動を地域に広げ活発化させるための方策を考えることが重要。	地区活性化のきっかけとなる祭りやイベントに取り組むとともに、住民等の日々の活動等が地域に広がり、活発化することが重要であると考えています。 いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。
18	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・地区再生・活性化に向けては、高齢者のためだけでなく、若者が望む取り組みを進める必要がある。 ・指針の内容は幅が広いが、まずは子育て世代が住みたいまちにする必要がある。 子育て世代にやさしいまちづくりをすれば、自然と高齢者にもやさしいまちになるため、子育て（特に小・中学生）に視点を置いて再検討してほしい。 ・人口減少と高齢化が金剛地区衰退の最大の原因。高齢化を止めるのは難しいが、人口減少は、今後の方策により解決できる可能性がある。 住宅、子育て、学校、交通、商業等に関するさまざまな施策を、子育て世代に重点をおいて実施することで、若い世代が増え、高齢者も元気をもらうことができる。 ・将来を担う若年層への配慮が欠落しており、若い人を呼び込む施策が急務。 ・小・中学校の統廃合の話が出ていると思うが、若い人は近くに学校があるからここに住むと思う。若い人を迎える考慮が入っていない。 ・子育て施策について、保育園の充実（増設）、小・中学校の校舎・設備の充実、学校給食の充実、教職員の増員、子どもが安心して遊べる空間の確保、通学路の安全確保等を提案する。 	<p>本指針（素案）では、子ども・高齢者をはじめ、さまざまな立場の人が安心していきいきと暮らすことができるまちを目指すこととしていますが、中でも、子育て世代や若者が住みたいと思えるまちづくりは、重要な視点であると考えています。 いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。</p> <p>なお、現時点で、小・中学校の統廃合に関する検討等はしておりません。</p>
19	全般	高齢者には、健康で活発に活動している人、持病等がありあまり活発に活動できない人、介助を必要とする人等、さまざまな立場の人がおられるため、一括りにしてしまわず、実情をしっかりと分析して、指針に具体的施策を明示していく必要がある。	本指針（素案）では、子どもから高齢者まで、さまざまな立場の人が安心していきいきと暮らすことができるまちを目指すこととしておりますが、取り組みを進めるなかで、更に実情に応じた検討が必要であると考えています。

・第5章

No	金剛地区再生指針（素案）内の対象項目	コメントの概要	コメントに対する市の考え方
20	第5章 金剛地区再生の実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・「（仮称）金剛地区まちづくり会議」には、主体的に取り組む実行力が備わっておらず、本章に示す体制では、取り組みが遅々として進まないのでは。 その実行力は取り組みを進めていくなかで醸成されていくものである。 各取り組みを「絵に描いた餅」としないため、行政の果たすべき役割は大きく、中長期的視点で、先導的役割を担う必要がある。 ・指針の実現に向けたプロセス策定が必要。 	<p>「（仮称）金剛地区まちづくり会議」は、先導的に実践する取り組みを企画・実行していく中で、実績と経験を重ね、新たな活動の輪が広がっていくものと考えています。 また、同会議の活動が円滑に進むよう、研修や専門家による支援等、組織や担い手の育成を図る必要があります。 本指針（素案）では、市は、これらをバックアップするとともに、地区の再生・活性化に向けて、関係事業者等との連携・調整等の役割を果たすこととしています。</p>
21	第5章 金剛地区再生の実現に向けて	金剛駅の東口にエレベータの設置が必要。大阪狭山市にも働きかけ、南海電鉄と交渉してほしい。	これから住民・地域団体等とともにまちづくりを進める中で、金剛駅、または駅周辺のあり方等について検討する際には、大阪狭山市や関係事業者との連携・調整等を図ってまいりたいと考えています。
22	第5章 金剛地区再生の実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・金剛地区の課題について、その対応の多くは最終的に行政の手腕に委ねざるを得ないものであるが、同時に住民等にとっても共有課題である。 ・地区に関係するさまざまな事業者、地域団体等と連携し、ソフト・ハード両面からビジョンを共有するとともに、市民の立場から検討することが必要。 	<p>金剛地区が抱えるさまざまな課題への対応は、住民・地域団体・事業者、及び行政が一丸となって進めることとしています。 いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。</p>

23	第5章 金剛地区再生の実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・UR賃貸団地は、さまざまな特殊事情・案件を抱えている。これに関し、行政として、UR都市機構に対してどのような働きかけをしていくかが欠落しており残念。 ・金剛地区の再生・活性化の取り組みを進めるにあたり、事業者等との連携・調整において、市が果たす役割が決定的に大きいということを忘れてはならないと思う。 他の計画との整合を図るうえでも、市の責任は重い。 	<p>本指針（素案）では、地区の再生・活性化に向けて、市は、関係事業者等との連携・調整等の役割を果たすこととしています。</p> <p>具体的な事項については、関係者間でビジョンを共有したうえで、検討することが重要であると考えています。</p>
24	第5章 金剛地区再生の実現に向けて	<p>地区を構成するさまざまな要素（商業、産業、医療、福祉、農業、観光等）は、地区の中でクローズされていないため、地区再生・活性化は、市域全体、広域的な視点から検討が必要。</p>	<p>本指針（素案）では、周辺地区との交流や歴史文化に触れる活動に取り組み、地区に新たな魅力や文化を育てることとしています。</p> <p>また、地区再生・活性化に向けた取り組みを進める過程において、地区外の団体・事業者等との連携も図ってまいりたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見等は、取り組みを進める上での参考とさせていただきます。</p>
25	第5章 金剛地区再生の実現に向けて	<p>指針が、どれだけ地区住民に周知されているのか危惧している。指針に基づく取り組みを進めていくに当たり、地区住民への周知が必要。</p> <p>その上で、（仮称）金剛地区まちづくり会議等の組織を発足するべきである。</p>	<p>いただいたご意見等を参考とさせていただき、指針策定後は、さまざまな手法により、出来る限りの周知に努めたいと考えています。</p>

・その他全般

No	金剛地区再生指針（素案）内の対象項目	コメントの概要	コメントに対する市の考え方
26	その他全般	<p>財政の視点が欠落しているため、取り組みの実現性が読み切れない。</p>	<p>地区再生・活性化に向けた取り組みは、住民・地域団体・事業者、及び行政が一丸となって進めることとしています。</p> <p>各取り組みの具体的な進め方等については、財政的な面も含め、引き続き検討が必要であると考えています。</p>
27	その他全般	<ul style="list-style-type: none"> ・金剛駅前を早期に再開発し、電車の乗降だけでなく、買い物等、さまざまな利用ができるようにする必要がある。 若者をいかに呼び込むかが大切であり、そのためには、建物の更新や駅周辺の再開発等、若者のニーズに見合ったまちづくりが必要である。 ・富田林市にはさまざまな地区や資源があるが、交通、人口等の視点から、今後発展可能なエリアは、金剛駅前である。 金剛駅は、南海電鉄の主要駅であり、UR賃貸住宅や駅前の分譲団地等の土地活用も可能。 具体案として、第三住宅の建て替えに合わせて、民間資本等も活用し、公共施設、病院、商業施設等を設置してはどうか。 ・駅前には、都市の顔と言われている。 都市のステータス、イメージ、魅力づくりの上で、金剛駅周辺の再整備は不可欠。大阪狭山市や関係者との緊密に協議検討し、指針に反映していくことが必要。 	<p>本指針（素案）では、金剛駅前から金剛中央公園間の「ふれあい大通り」を多彩な活動の場となる“まちの顔”として育むこととしています。</p> <p>また、沿道の施設や住宅において、再整備を行う場合には、通りの美しさ、風格、にぎわいや出会いの創出を実現することとしておりますが、そのためには、長期的な視点において、関係者間でビジョンを共有することが重要であると考えています。</p> <p>これから住民・地域団体等とともにまちづくりを進める中で、金剛駅、または駅周辺のあり方等について検討する際には、大阪狭山市や関係事業者との連携・調整等を図ってまいりたいと考えています。</p>
28	その他全般	<p>地域福祉、高齢者福祉等、さまざまなコミュニティ活動において、市の担当部署が異なるため、相互が連携した活動が阻害されている状況がある。</p> <p>市民主体のコミュニティ活動が活発に発展するため、行政には、縦割りではなく、横断的にそれらを支援することが求められる。</p>	<p>市では、担当部署を超えた横断的な組織として、「金剛地区活性化研究会」を設置しています。</p> <p>いただいたご意見を参考とさせていただき、引き続き横断的な視点から、地区再生・活性化を進めてまいります。</p>

以上